株主メモ

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月20日 期末配当金　毎年3月20日 中間配当金　毎年9月20日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	0120-782-031（フリーダイヤル）
URL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	当社の公告方法は電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.alinco.co.jp （ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。）

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の「特別口座について」をご確認ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。上記お問い合わせ先にお願いいたします。

この印刷物は、植物油インキを使用しています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ALINCO REPORT

第50期年次報告書

2019年3月21日　2020年3月20日

証券コード:5933

ニッチマーケットでトップ企業に

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、第50期（2020年3月期）の業績と今後の見通しについてご報告申し上げます。

代表取締役会長 井上 雄策　代表取締役社長 小林 宣夫

当期の業績（2020年3月期）		
	売上高	556億13百万円
	営業利益	33億38百万円
	経常利益	34億61百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	21億55百万円

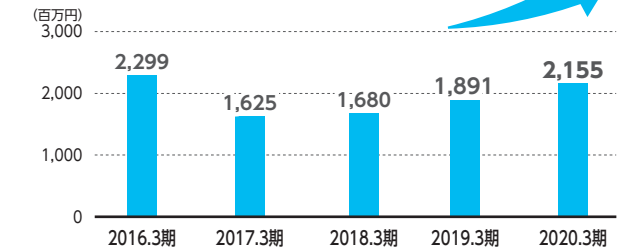
当期の事業環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復が持続しておりましたが、2019年10月に実施された消費税増税後は、個人消費が停滞し足踏み状態となりました。加えて、年明けからの新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大等により、極めて不確実性の高い状況が続いております。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界におきましては、東京オリンピック・パラリンピック関連の建設工事や、老朽化した社会インフラの改修・整備や首都圏並びに主要都市における再開発案件をはじめとした建設需要などにより、事業環境は堅調に推移しました。新型コロナウイルス感染症の拡大によって住宅機器及び電子機器関連事業の一部でサプライチェーンに混乱が生じましたが、当期の経営成績に対する影響は限定的でした。

業績のポイント

この結果、売上高は前期比3.3%増の556億13百万円と10期連続の増収となり、過去最高となりました。利益面では、営業利益が売上高の増加によって前期比14.3%増の33億38百万円と過去最高となりました。経常利益は金融市場の混乱によって外貨建資産の評価において為替差損が発生しましたが、前期比4.7%増の34億61百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、海外の子会社について固定資産の減損損失を計上しましたが、投資有価証券売却益を計上したことによって、前期比14.0%増の21億55百万円となりました。

(注) EBITDA ＝ 経常利益 ＋ 減価償却費 ＋ のれん償却額

今後の見通し

今後の経済の見通しについては、当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界における建設需要は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、老朽化した社会インフラの改修・整備や首都圏並びに主要都市における再開発案件などの潜在的な需要によって、中期的な建設投資は堅調に推移すると思われます。

しかしながら、足元の建設機材及びレンタル関連事業を取り巻く事業環境は、東京オリンピック・パラリンピックの開催延期や大手ゼネコンの建設工事中断に向けた協議が開始されるなど時々刻々と変化しており、得意先である仮設機材レンタル会社の機材稼働率低下にともなう影響を想定することは困難な状況です。また、住宅機器及び電子機器関連事業においては、中国のサプライチェーンの混乱は解消しておりますが、主要な販売ルートにおける事業活動自粛の影響を想定することが困難な状況となっております。

今後、当社グループは、引き続き新型コロナウイルス感染症に関する情報収集及び対応を実施し、その影響の最小化に努めるとともに、感染終息後の需要回復に向けた準備を進めてまいります。建設機材並びにレンタル関連事業においては、今後更なる伸びが期待できる新型足場「アルバトロス」の普及と関連機材の開発を引き続き強化します。また住宅機器関連事業においては、今般の感染症の影響によってより注目を集めたｅコマースへの新製品の供給を進めてまいります。電子機器関連事業においては、総務省が全国に普及を図る防災行政無線の受注増を図るとともに、ＩＰ無線をはじめネットワーク通信設備と無線機との融合を図る新製品群の開発に取り組んでまいります。

設備投資の状況

当期中に実施いたしました設備投資の総額は31億30百万円で、その主なものは需要増に対応した積極的なレンタル資産への投資を23億96百万円実施しました。

配当方針

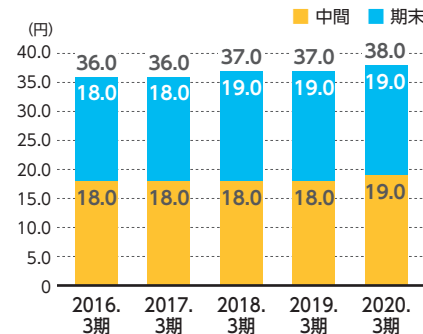
当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けております。

剰余金の配当につきましては、安定的な配当の維持を基本方針とし、**連結配当性向40％を目標**として配当を実施してまいります。

また、自己株式の取得につきましては、株価や経営環境の変化に対する機動的な対応や資本政策及び株主の皆様に対する利益還元の一方法として、適宜その実施を検討してまいります。

内部留保金につきましては、中国・東南アジアへの海外投資や今後成長が見込める事業分野に積極的に投資を行い更なる企業価値の向上を図るとともに、競争優位性の維持に必要な財務基盤の安定にも配慮してまいります。

これらの方針に基づき、当期の期末配当金につきましては、１株当たり19円とさせていただきました。既に2019年11月21日実施済みの中間配当金１株当たり19円と合わせまして、年間配当金は１株当たり38円となります。

また、次期の配当金予想額につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を精査中であり、現時点において業績予想が困難であることから未定とさせていただきます。

中長期の課題

当社グループは「ニッチマーケットでトップ企業に」の経営方針のもと、更なる成長に向け、中長期的に以下のような課題に取り組んでまいります。

① 更なる市場シェアの拡大とアライアンスの構築

当社グループは、業界トップポジションに集まる様々なユーザーのニーズや情報を具現化する技術開発力と質・量ともに着実に対応できる製造能力によって、顧客層の拡大を進めております。今後も引き続きこのような対応能力を強化するとともに、当社グループの関連する事業領域において、高い優位性を有した企業と相互の強みを活かした協力体制を構築することによって、更なる市場シェアの拡大に努めてまいります。

新型足場「アルバトロス」

セーフティSKパネル

② 収益力の強化に向けた取り組み

当社グループは、建設工事などに従事する人々の安全や作業の効率化のため新型足場「アルバトロス」の普及に努めた結果、ここ数年当社グループのレンタル資産への投資は拡大傾向で推移しました。レンタル資産への投資については今後も継続するとともに、保有機材のカテゴリー構成や機材稼働率の季節的な変動の抑制による収益性の向上上に取り組んでまいります。

また同時に、更なる成長を目指して積極的にM&Aを実施してまいりました。今後もM&Aについては積極的に対応するとともに、M&Aによって子会社化した各社との相乗効果を高める取り組みを進め、収益力の強化に取り組んでまいります。

高い優位性を誇る製品

物流保管設備機器（ラック）

アルミ製ブリッジ　レーザー墨出器

③ 海外市場におけるビジネス展開推進

当社グループは、中国及びタイに加えてインドネシアにおいても仮設機材の販売・レンタルを本格的に展開しております。これらの国々では、現地の状況にあわせて営業推進した結果、当初の日系ゼネコン中心の受注構成からローカルゼネコンへの展開が進んでおります。今後は日本で培った仮設機材の安全規格や機材運用のノウハウを維持しながら、レンタル機材の供給拡大や機材ヤードの拡張なども含め、海外でのビジネス展開を強化してまいります。

東南アジアにおける高品質な仮設機材の供給

当社足場施行現場

お知らせ

このたび、従来兵庫工場周辺に分散して委託保管していた製品倉庫を集約し、業務の効率化と経費の削減を図ることを目的として、建設機材用物流センターを設置するために、当社の国内主力工場である兵庫県丹波市の兵庫工場に近接し、舞鶴若狭自動車道・京都縦貫自動車道の２つの高速道路のインターチェンジに近く、交通利便性に優れた立地にある京都府福知山市の長田野工業団地「アネックス京都三和」内に建設用地を取得しました。
当社最大規模の建設機材用物流センターを設置することで、従来兵庫工場周辺に分散して委託保管していた製品倉庫を集約し、業務の効率化と経費の削減を図ることが可能となります。

取得用地の概要
(1) 所 在 地：京都府福知山市三和町みわ小字エコートピア13番地
(長田野工業団地「アネックス京都三和」G区画)
(2) 敷地面積：23,917.12㎡（約7,248坪）
(3) 有効面積：17,779.43㎡（約5,387坪）

新物流センターの概要（予定）
(1) 名　　称：福知山物流センター
(2) 建物概要：鉄骨造平屋建 床面積 約6,600㎡（約2,000坪）
(3) トラックヤード：屋根付き 面積 約550㎡(約300坪)
(4) 入 荷 場：プラットフォーム 面積 約177㎡（約50坪）
(5) 竣工予定：2021年3月

住宅機器　フラットジョグ(AFR1619)が2019年度グッドデザイン賞を受賞(フィットネス事業部)

収納や移動しやすさといった点に様々な工夫を加えながらも、佇まいとしてのスマートさを保っている。加えて、年配層の人にも安心して使えるよう構造的な見直しを図り、そのメンテナンスにも目を向けるなど日常的に使用する観点において必要十分な機能性を発揮している点が高く評価され2019年度グッドデザイン賞を受賞しました。

【特長】
①床から走行面まで約９cmの低床設計
②便利な組立不要と折り畳み機能
③タブレットトレー付きでながら運動が可能
④グリップセンサーで心拍数の測定が可能
⑤４種類のプログラムから運動負荷の選択が可能

住宅機器　〈新製品〉1トン台車「DUNK」(住宅機器事業部)

最大積載質量1000kg（１トン）の６輪平床の台車です。四隅には単管パイプを差し込めて、台車同士のスタッキングも可能な作業性と保管効率の優れた力強いパートナーです。

【特長】
①四隅には「ブレーキ付きキャスター」を、中間には蛇行を軽減させる「方向規制キャスター」を採用し、安定した走行を実現。
②部品交換可能なメンテナンス性に優れた仕様
③四隅に単管パイプを差し込める設計で、資材の運搬もラクラク

電子機器　〈新製品〉超小型でも本格的な業務用トランシーバー「DJ-P321」シリーズ(電子事業部)

単三電池１本、スピーカー内蔵式特定小電力トランシーバーではクラス最小・最軽量※。上位機種にも劣らない多彩な機能を搭載した「DJ-P321」シリーズが登場しました。
（※2020年２月現在/当社調べ）

【特長】
①H74.8mm × W46.8mm x D20.3mm、質量はLタイプでも約90gと、まさに手のひらサイズ
②用途に合わせて選べる３色のボディカラーと２つのアンテナタイプ
③IP67耐塵防浸、交互通話中継対応、乾電池１本で33時間もの長時間運用を実現

建設機材関連事業

中高層建築現場で使用される仮設機材を通じて「効率」と「安全」を提供

複雑・多様化する建設現場において、作業者の安全と作業性をサポートする機材を取りそろえ、様々なニーズに最適な製品を提供しております。

総合物流保管機器で多様な物流保管ニーズに対応

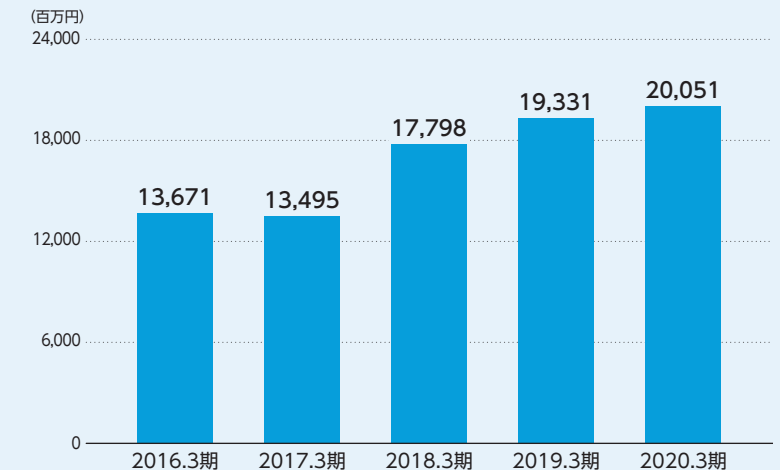
ユーザーの幅広い物流保管機能の要望に、商品企画からシステム設計までの充実した技術力により、幅広い保管機器を提供しております。

新型足場（アルバトロス）

アルミ朝顔

売上高 **200億51百万円**
（前期比3.7％増）

当事業の売上高は、前期比3.7％増の200億51百万円となりました。建設用仮設機材の販売が新型足場「アルバトロス」や高速道路補修工事向けの「SKパネル」を中心に広範なジャンルにわたって高水準で継続しました。また、子会社の双福鋼器㈱においても物流倉庫向けラックの販売が好調に推移しました。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント利益は前期比1.6％増の24億63百万円となりました。

レンタル関連事業

独自のオクトシステムで住宅足場のシェアNo.1

低・中層建築向けに、当社独自開発のくさび緊結式足場（オクトシステム）の運搬・組立・解体までを一括して請け負うサービスを提供しております。

現場の声と対話するレンタル

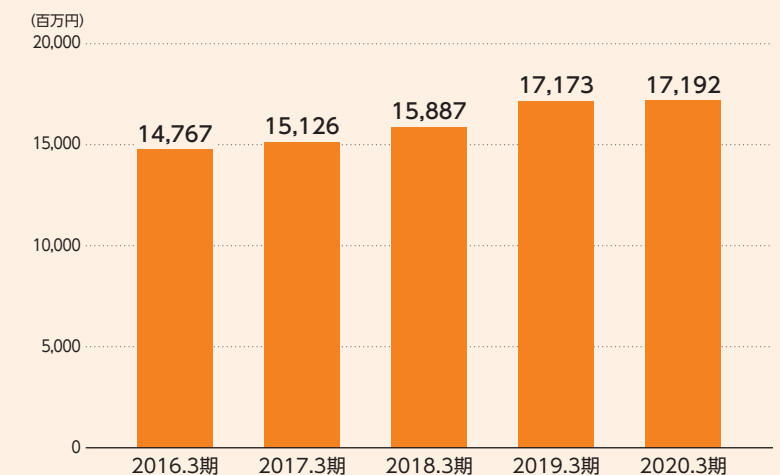
建築現場の環境や作業者の声に直接触れることを通して、製品開発とマーケットとの距離の短縮を図っております。

低層住宅向仮設足場（新オクトシステム）

中高層用仮設足場

売上高 **171億92百万円**
（前期比0.1％増）

当事業の売上高は、前期比0.1％増の171億92百万円となりました。低層向けレンタルにおいてここ数年注力してきた非住宅分野での売上高が拡大しました。

損益面では、新型足場「アルバトロス」を中心としてレンタル資産の稼働率が期初から好調に推移したことなどから、セグメント利益は前期比78.8％増の５億55百万円となりました。

住宅機器関連事業

くらしを創るプロのために「安全・快適・便利」を提供

工場や建築現場から家庭まで、幅広く作業する現場で必要とされる昇降器具、アルミ製梯子、脚立、三脚をはじめ関連製品などを提供しております。

健康から癒しへ現代人をサポート

家庭で手軽にできるエクササイズ製品を開発提供しております。

アルミ合金製脚立

フィットネスバイク

マッサージチェア

売上高 149億10百万円

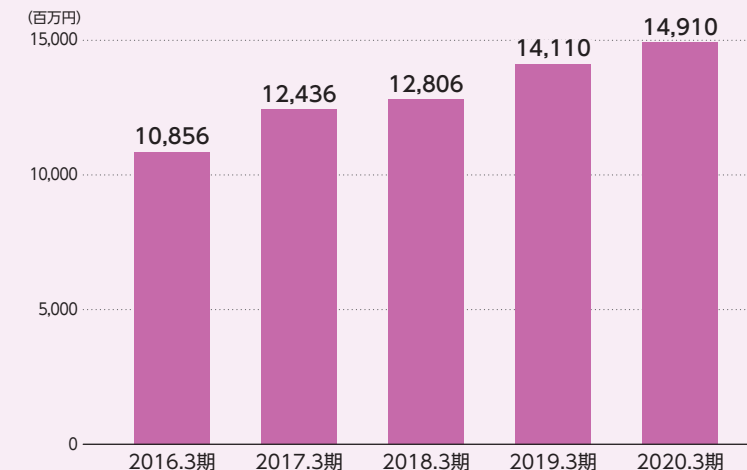
（前期比5.7%増）↗

当事業の売上高は、前期比5.7%増の149億10百万円となりました。子会社化した昭和ブリッジ販売㈱の売上高が業績に寄与したほか、機械工具ルート向けにアルミ製脚立の新製品「GAUDI」の販売が好調に推移しました。また、フィットネス機器については、マッサージ関連の新商品が量販店や家電販売店を中心に好調であったほか、電動ランナーやバイクが通販やネット販売で好調に推移しました。

損益面では、為替差益が減少したため、セグメント利益は前期比31.2%減の３億54百万円となりました。

売上高

(百万円)

期	売上高
2016.3期	10,856
2017.3期	12,436
2018.3期	12,806
2019.3期	14,110
2020.3期	14,910

電子機器関連事業

独自の先端技術で開発された
グローバルブランド「ALINCO」

アマチュア無線機などホビーユーザー向けから業務用無線機、デジタル無線機など高い品質と技術が求められる分野まで、多彩な製品群で常に最新のコミュニケーションツールを提供しております。

デジタル簡易無線機

特定小電力無線機

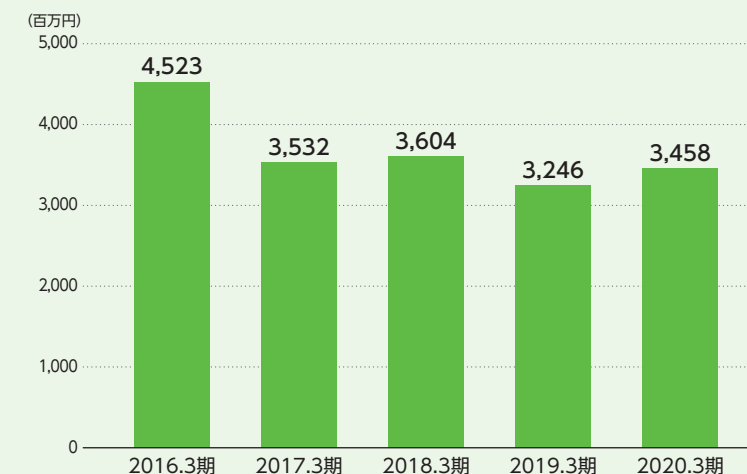
アマチュア無線用車載無線機

売上高 34億58百万円

（前期比6.5%増）↗

当事業の売上高は、前期比6.5%増の34億58百万円となりました。建設や土木現場で使用される測量器や建設機械に搭載される無線モジュールの拡販が進むとともに、前期から繰り越された防災行政無線の納入が始まりました。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント利益は前期比89百万円改善して０百万円となりました。

売上高

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前期 2019年3月20日現在	当期 2020年3月20日現在
（資産の部）		
流動資産	31,137	33,356
現金及び預金	4,379	5,127
受取手形及び売掛金	15,848	15,452
1 商品及び製品	7,027	8,187
1 仕掛品	1,062	1,199
1 原材料	2,047	2,395
その他	788	1,011
貸倒引当金	△ 15	△ 16
固定資産	22,802	20,994
有形固定資産	15,192	14,476
レンタル資産	4,620	4,080
建物及び構築物	4,102	3,922
機械装置及び運搬具	1,295	1,199
土地	4,852	4,902
その他	348	393
減損損失累計額	△ 27	△ 22
無形固定資産	1,382	1,139
投資その他の資産	6,227	5,378
2 投資有価証券	2,164	1,508
長期貸付金	824	1,102
更生債権等	－	3
2 退職給付に係る資産	2,076	1,640
繰延税金資産	185	157
その他	980	973
貸倒引当金	△ 3	△ 6
資産合計	53,940	54,351

科目	前期 2019年3月20日現在	当期 2020年3月20日現在
（負債の部）		
流動負債	16,123	16,757
支払手形及び買掛金	8,225	8,219
短期借入金	554	1,168
1年内返済予定の長期借入金	4,435	4,346
未払法人税等	757	689
賞与引当金	684	728
その他	1,465	1,604
固定負債	11,457	10,169
長期借入金	10,238	9,277
退職給付に係る負債	200	186
役員退職慰労引当金	186	186
繰延税金負債	438	169
その他	393	349
負債合計	27,580	26,927
（純資産の部）		
株主資本	24,969	26,389
資本金	6,361	6,361
資本剰余金	4,812	4,817
利益剰余金	14,704	16,107
自己株式	△ 909	△ 896
その他の包括利益累計額	598	63
2 その他有価証券評価差額金	328	△ 93
繰延ヘッジ損益	13	92
為替換算調整勘定	214	411
退職給付に係る調整累計額	41	△ 346
非支配株主持分	791	971
純資産合計	26,359	27,424
負債純資産合計	53,940	54,351

連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前期 2018年3月21日から 2019年3月20日まで	当期 2019年3月21日から 2020年3月20日まで
売上高	53,862	55,613
売上原価	39,449	40,228
売上総利益	14,413	15,384
販売費及び一般管理費	11,492	12,045
3 営業利益	2,920	3,338
営業外収益	687	377
営業外費用	301	255
経常利益	3,306	3,461
4 特別利益	4	393
4 特別損失	70	177
税金等調整前当期純利益	3,241	3,677
法人税、住民税及び事業税	1,228	1,279
法人税等調整額	△ 3	51
当期純利益	2,015	2,345
非支配株主に帰属する当期純利益	124	190
親会社株主に帰属する当期純利益	1,891	2,155

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前期 2018年3月21日から 2019年3月20日まで	当期 2019年3月21日から 2020年3月20日まで
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	5,041	4,891
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,662	△ 3,123
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,017	△ 1,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 56	113
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 661	647
現金及び現金同等物の期首残高	4,981	4,344
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	23	－
現金及び現金同等物の期末残高	4,344	4,991

POINT 1
売上高が好調に推移したなかで、将来の販売増加に備えてタイムリーな供給体制を整えるため、在庫の積み上げを図りました。

POINT 2
新型コロナウイルス感染症拡大の影響による金融市場の混乱によって、保有している上場有価証券や年金資産の時価が下落しました。

POINT 3
売上高が10期連続の増収、過去最高となったことや、売上総利益率が生産設備やレンタル資産の稼働率上昇によって改善したことにより、営業利益が過去最高となりました。

POINT 4
特別利益に政策保有株式の売却益を計上するとともに、特別損失に海外子会社に関わる減損損失を計上しました。

POINT 5
営業キャッシュ・フローは戦略的な在庫の積み上げによって減少し、投資活動によるキャッシュ・フローはM&Aによる支出がなかったことから減少しました。

会社情報 ／ Company Information

会社概要

社名	アルインコ株式会社
英文社名	ALINCO INCORPORATED
本店	大阪府高槻市三島江 1丁目1番1号
大阪本社	大阪市中央区高麗橋 4丁目4番9号
東京本社	東京都中央区日本橋 2丁目3番4号
創業年月	1938年9月
設立年月日	1970年7月4日
資本金	63億6,159万円
上場市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	5933
従業員数	(連結) 1,450名 (単体)　748名

役員 (2020年6月18日現在)

代表取締役会長	井上　雄策	
代表取締役社長	小林　宣夫	
専務取締役	加藤　晴朗	建設機材事業部担当　兼　仮設リース事業部担当　兼　生産本部担当
常務取締役	前川　信幸	住宅機器事業部長
取締役	楠原　和広	電子事業部長
取締役	岡本　昌敏	建設機材事業部長
取締役	三浦　直行	住宅機器事業部　副事業部長
取締役	小嶋　博隆	オクト事業部長
取締役	坂口　豪志	海外建材事業部長　兼　経理本部長
取締役	西岡　俊浩	フィットネス事業部長
社外取締役	梨和　信	
取締役※	上村　史郎	常勤監査等委員
社外取締役※	野村　公平	監査等委員
社外取締役※	勘場　義明	監査等委員

注）※は監査等委員であります。

執行役員 (2020年6月18日現在)

上席執行役員	山本　和弘	建設機材事業部　副事業部長　兼　第二営業部長　兼　業務部長
執行役員	平　謙二	生産本部長
執行役員	佐倉 広太郎	海外建材事業部　副事業部長 兼　ALINCO SCAFFOLDING（THAILAND）CO.,LTD. 取締役社長 兼　SIAM ALINCOCO.,LTD.取締役社長 兼　ALINCO（THAILAND）CO.,LTD.取締役副社長
執行役員	松井　正典	ALINCO（THAILAND）CO.,LTD.取締役社長 兼ALINCO SCAFFOLDING（THAILAND）CO.,LTD.取締役副社長
執行役員	川上　義広	総務人事本部長　兼　総務部長
執行役員	小土井 晃雅	住宅機器事業部　副事業部長　兼　業務部長
執行役員	鶴山　伸治	経理本部　経理部長

連結子会社（国内８社、海外６社）

会社名	主要な事業内容	
アルインコ富山株式会社	電子機器の組立・加工請負	
東京仮設ビルト株式会社	足場の架払工事請負	
株式会社光モール	アルミ型材・樹脂モール材の販売	
オリエンタル機材株式会社	建設用仮設機材の販売・レンタル	
株式会社シィップ	据置式昇降作業台の製造・販売及びレンタル	
エス・ティ・エス株式会社	測量機器、レーザー機器等の企画開発・製造ならびに販売	
双福鋼器株式会社	物流保管設備機器（ラック）・鋼製床材の製造・販売	
昭和ブリッジ販売株式会社	アルミ製ブリッジ、各種台車、折りたたみリヤカー等の製造・販売	
蘇州アルインコ金属製品有限公司	金属製品及び関連製品の開発・製造ならびに販売	(中華人民共和国)
アルインコ建設機材レンタル（蘇州）有限公司	建設用仮設機材の販売・レンタル	(中華人民共和国)
ALINCO（THAILAND）CO.,LTD.	建設用仮設機材の製造・販売	(タイ王国)
ALINCO SCAFFOLDING（THAILAND）CO.,LTD.	建設用仮設機材の販売・レンタル及び輸出入	(タイ王国)
SIAM ALINCO CO.,LTD.	投資及び人材派遣	(タイ王国)
PT. ALINCO RENTAL INDONESIA	不動産開発・管理	(インドネシア共和国)

株式情報 ／ Stock Information

株式に関する情報

発行可能株式総数	発行済株式数	うち自己株式数	株主数
35,200,000株	21,039,326株	1,211,416株	6,037名

大株主の状況（上位10名）

2020年3月20日現在

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
アルメイト㈱	3,153	15.91
アルインコ共栄会	1,308	6.60
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口）	768	3.88
日本マスタートラスト信託銀行㈱（信託口）	745	3.76
アルインコ従業員持株会	608	3.07
井上雄策	595	3.00
井上敬策	574	2.90
㈱アクトワンヤマイチ	536	2.71
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（りそな銀行再信託分・㈱関西みらい銀行退職給付信託口）	451	2.27
阪和興業㈱	316	1.60

(注) 1.　持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.　持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
3.　日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（りそな銀行再信託分・㈱関西みらい銀行退職給付信託口）の持株数451千株は、委託者である㈱関西みらい銀行が議決権の指図権を留保しております。
4.　当社は、自己株式1,211,416株を所有しておりますが、上記の表には含めておりません。

株式分布状況

株主優待について（毎年3月20日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象としております）

保有株式数	株主様への株主優待制度	
500株以上　1,000株未満	３年未満保有　1,000円分の商品券	３年以上継続保有　2,000円分の商品券
1,000株以上　5,000株未満	３年未満保有　2,000円分の商品券	３年以上継続保有　3,000円分の商品券
5,000株以上　10,000株未満	３年未満保有　4,000円分の商品券	３年以上継続保有　5,000円分の商品券
10,000株以上	３年未満保有　6,000円分の商品券	３年以上継続保有　8,000円分の商品券

上記の商品券は三井住友カードの「VJAギフトカード」となります。